

村の水産振興発展に尽力される

～第22回東通村漁協役員研修会及び第44回東通村水産功労者表彰式～

★水産功労者表彰者

漁協役員		
氏名	所属・役職名	在職年数
相内 軍司	老部川内水面漁業協同組合 理事	10年1ヶ月
相内 祥一	老部川内水面漁業協同組合 代表監事	10年1ヶ月
南谷 雅人	尻屋漁業協同組合 副組合長理事	10年0ヶ月
杉本 喜代彦	野牛漁業協同組合 理事	10年1ヶ月
伊柳 晴美	野牛漁業協同組合 代表監事	10年1ヶ月
漁協職員		
氏名	所属・役職名	在職年数
渡邊 代志人	野牛漁業協同組合 参事	30年3ヶ月
弓 香苗	石持漁業協同組合 管理係	30年0ヶ月

10月4日、むつ市内のホテルにおいて村水産振興推進協議会（越善村夫会長）の主催により東通村漁協役員研修会並びに水産功労者表彰式が開催されました。

村内各漁協の役員等約1000名が参加した研修会では、(地独)青森県産業技術センター 下北ブランド研究所 主任研究員である竹谷裕平氏から「地域資源の見つけ方、地域ブランドの育て方」風間浦鮫を事例に、また、東北森林管



第44回 東通村水産功労者表彰式

理局 下北森林管理署 丹藤卓司氏から「森林と海について」と題し講演がありました。

研修終了後には今回で44回目となる、東通村水産功労者表彰式が行われ、長年漁協役員、職員として村水産業発展に功績のあつた方々に対し、越善村長から表彰状と記念品が授与されました。

表彰された皆さんおめでとうございました。



挨拶をする川端会長

10月11日、村漁業連合研究会(川端昭也会長 会員数165名)が「サケ漁況の見通し」についての研修会を開催し、(地独)青森県産業技術センター 内水面研究所 主任研究員 相坂幸二氏より講演をしていただきました。

サケの来遊予測は、河川回帰尾数、沿岸回帰尾数と年齢構成、海況予報等から推測されますが、今年の太平洋海域での河川回帰尾数は12・7万尾(昨年22・4万尾)、沿岸回帰尾数は70万尾(昨年62万尾)とな



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

る見込みのため、サケ漁の見通しは「河川回帰尾数は減少するが、沿岸回帰尾数は昨年よりは良い」と予測されることでした。

当村のサケの水揚量は、平成2年から9年まで4千トンから5千トンと県内でも有数の水揚げを誇っていましたが、平成10年以降は2千トン前後、近年では約千トン前後と低調に推移し、また昨年は太平洋側全体でサケが不漁だったこともあり、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。

「サケ漁況の見通し」について学ぶ
～東通村漁業連合研究会「研修会」～